

農業

商業

## 農産物直売所と温浴・宿泊施設を融合させた複合型アグリビジネス



- 温浴施設と連携した滞在型農業公園の開発
- 相互の集客効果により Win-Win の関係を実現
- 温浴施設の廃熱を利用した農産物の省エネハウス栽培



### シナリオ

- 高齢化、担い手の減少により出荷量がまとまらず、出荷量が重視される市場販売で価格の低迷に悩んでいたJAが、新たな販売方法として直売所の設置を検討していた。
- そこで、多数の集客を実現している温浴施設の運営会社と連携し、農産物直売所を擁する農業公園の開発を行うことで、乱立による競争激化が進む他の直売所との差別化を図ることとした。
- 開発する農業公園は、集客能力のある温浴施設を中心に、直売所、果物摘み取り農園を設置し、滞在型を実現するため宿泊施設を建設。
- 宿泊施設や公園内のレストランでは、JA婦人部会が開発した旬のメニュー、郷土料理を提供し、農園のビニールハウスは温浴施設の廃熱を利用するなど Win-Win の形で連携した運営を行う。

### 役割

JA

- 農産物の生産・販売ノウハウを活かし、農産物直売所、観光農園の運営を行う。
- 女性組合員で構成される婦人部会において、旬の食材を使用した郷土料理の提供、新たなメニュー開発を行う。

温浴施設運営会社

- 多数の集客を実現してきた温浴施設の運営ノウハウを活かし、宿泊施設、公園内レストランの運営を行う。

### 効果

JA

- 農産物直売所、観光農園の運営により事業全体の売上げが向上する。
- 組合員の農業者にとっては、農産物直売所の設置により、小ロット出荷、直売による流通経費の削減が可能となり、所得が向上する。
- また、宿泊施設、公園内レストランにおいて、生産した農産物が使用されることから、農産物の売上げが向上する。
- さらに、温浴施設の廃熱を利用することで、加温を必要とするハウス栽培の経費を抑え、省エネルギー栽培を実現できる。

温浴施設運営会社

- 宿泊事業、公園内レストランの飲食事業を行うことで、売上げが向上する。
- 滞在型の農業公園を併設し、地元特産の旬の農産物を使用した郷土料理を提供することで、差別化を実現し、更なる集客が期待できる。